



みつわ通信

2017年

3月号

仕上がりきれい！強度抜群！教科書どりのバイブレータのかけ方。

まだまだ寒い日が続きます、皆様お仕事お疲れ様です。今回は半製品である生コンを素晴らしい製品に変身させる相棒、「バイブレーター」について、当社文献よりお話しします。



基本の4ヶ条。

バイブレーターについて文献を調べますと、次の4つの項目が大切であり、基本です。

1、生コンを移動させない

バイブレーターは垂直に挿入し、斜めに挿入したりそれにより生コンを移動させない。パイプ移動はモルタル分のみの移動となり碎石分の欠如により強度低下を招く。

2、かける時間

一ヶ所の振動時間は5秒から15秒となっている。もちろんスランプなどで振動時間は変わってくるがコンクリート表面がツヤやかになってきたときが振動終了の目安となる。

3、振動効果範囲

バイブレーターの振動が届く範囲はおおよそ振動部の直径×10倍。直径20mmなら直径20cm間隔、直径50mmなら50cm間隔でパイプをかければコンクリート全体にパイプが掛かった事となる。

4、鉄筋に当てない

バイブレーターを鉄筋等、金物に当てると鉄筋とコンクリートの付着強度が低下する恐れがある。(余剰水分が鉄筋下部に集まり空隙になる場合も…)



様々なバイブレーター達。部位に適した道具で作業性、仕上がりもワンランクUP！！

お気軽にお電話ください♡

コンクリートに関することなら小さなことでも構いません。

Tel 023-686-6032 まで、お電話待ってます。